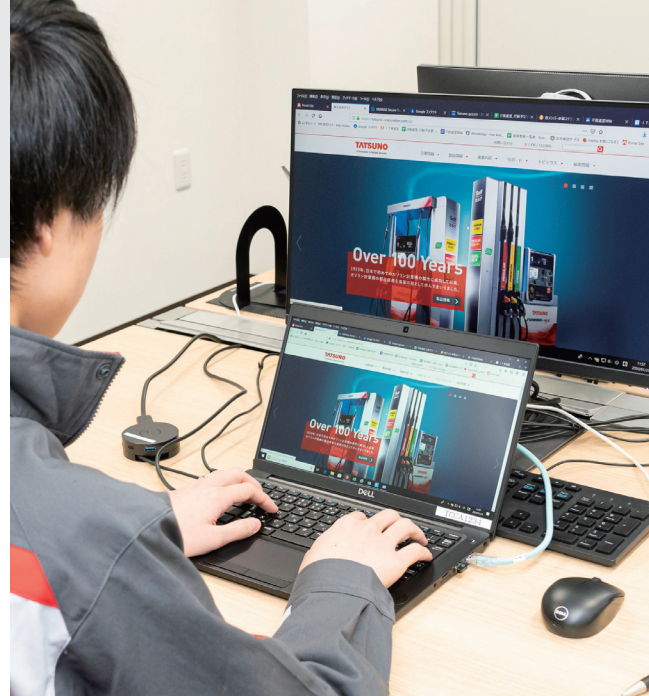




社内 PC 全台を「Dell Latitude」に 一本化、業務 IT インフラのすべてを デル製品で統一も視野に

ガソリン計量機のトップメーカー、タツノは、社内 IT インフラのほぼすべてをデル製品で固めつつある。2019 年の PC 更改では約 1,300 台の社内 PC 全台を「Dell Latitude 7390」ノート PC で一本化し、働き方改革と IT 運用管理の効率化に活かしている。



TATSUNO

製造業

日本

ビジネス課題

タツノでは、かねてから社内 PC をデル製品で一本化し、業務に活かしてきた。ただし、従来はデスクトップ PC とノート PC が混在した状態にあり、運用管理の効率化という点では改善の余地が残されていた。また、働き方改革の一環として、本社・拠点での Wi-Fi 環境の整備やフリーアドレス化を進める中で、デスクトップ PC の利便性の低さも際立つようになっていた。そこで、2019 年の PC 更改のタイミングに合わせて 1,270 台に上る社内 PC 全台を単一機種種のノート PC で統一する決断を下し、PC に対する従業員の多様なニーズを満たすノート PC の導入と利用環境の整備を急いだ。

ソリューション

- ハードウェア
 - Dell Latitude 7390
 - Dell USB-C モバイルアダプタ DA300
- サポート
 - Dell ProSupport
 - Dell - Custom Factory Integration

導入効果

- 高性能で携帯性と耐久性に優れた「Dell Latitude 7390」が、従業員の多様な働き方にフィット。現場の生産性の維持・向上に資するかたちでの PC 機種統一を実現
- Dell Latitude 7390 により、向こう 5 年間は現場の業務要件に対応しうる PC 環境を実現
- 社内 PC の完全機種統一で IT 運用管理の効率性がアップ
- 幅広いポートオプションを備えるモバイル USB-C アダプタ「DA300」の採用によって、多様な外付けモニターとノート PC との接続を単一のアダプタに集約。アダプタ保持・管理の手間を大幅に低減

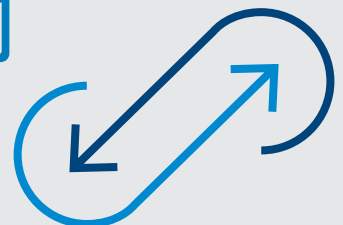
1270 台

社内 PC 全台を
モバイル化



20 年間

デル製 PC への
信頼は揺るがず





(左) タツノが制作した日本初のガソリン計量機、(中) ガソリン計量機、(右) 水素ガスディスペンサー

タツノは、1919年にガソリン計量機の製作に日本で初めて成功して以来、ガソリン計量機の製造・販売を事業の柱として成長・発展を遂げてきた企業だ。ガソリン計量機の国内市場で60%強のトップシェアを堅持するほか、計量機以外にも、石油製品の流通・販売にかかわる多彩な製品を取り揃えている。

そうした同社が、従業員に貸与する業務用PCとして長く使い続けているのがデル製PCである。

2019年のPC更改に際しても、社内PC全台(1,270台)をデル製ノートPC「Dell Latitude 7390」で統一し、業務の現場での運用を開始させている。また、PCのみならず、CAD用ワークステーション70台もデル製品で一本化し、さらには、基幹業務を支えるサーバーやストレージについてもほぼすべてがデル製品になりつつあるという。その背景には、デルの製品とサポート品質に対する厚い信頼がある。

最先端技術の取り込みで 業界をリード

ガソリン計量機メーカーの先駆けであり、1世紀以上の長きにわたり、トップメーカーであり続けているタツノ。同社は最先端技術の製品への取り込みによって業界をリードするテクノロジーカンパニーでもある。

タツノが開発・製造販売を手掛ける製品は、ガソリン計量機のほかに、ガソリンサービスステーション(SS)用システム機器、各種ガス(水素、LNG、CNG、LPGなど)の充填供給機器(ディスペンサー)、地下タンク関連機器、石油プラント機器などと多岐にわたる。また、創業以来の事業として、SS/油槽所/工場用プラントの設計・施工も手掛け、その実績は毎年1万件を超えているという。

同社の従業員数は2019年6月1日現在で1,228名。東京に本社を構え、神奈川県横浜市に中核の開発・製造拠点(横浜工場)を置くほか、全国各地に支店・営業所を展開し、国内拠点総数は約80カ所に及ぶ。さらに、海外進出にも意欲的に取り組み、ガソリン計量機を世界75カ国以上に輸出しているのに加えて、米国、ロシア、韓国、中国、タイなど世界8カ国に現地法人を置いている。

20年前から業務で使うPCはデル

そうしたタツノにあって、社内ITインフラ全般の運用管理と業務システムの企画・開発を担っているのがIT推進室だ。同室では従業員が日々の業務で使うPCの選定・運用管理も一手に引き受けており、その中で、「導入後5年が経過しても、現場の生産性に負の影響を与えないようなPCを選び抜く」という点にこだわってきたと、課長の野々山 芳久氏は話す。

同氏によれば、タツノでは社内PCを5~6年に1回の頻度で更改しており、いったん導入したPCは最低でも5年は使い続けるという。「その期間中、性能劣化や性能不足の問題を引き起こすことなく、エンドユーザーの業務をしっかりと支えてくれるPCが理想です」と、野々山氏は語り、こうも続ける。

「また、当社の経営トップは普段から、最先端のITツールは人の意識改革を引き起こすもので、業務に積極的に取り入れるべきとしています。ですので、社用のPCには相次いで登場する先端ツールを動作させられるだけのリソースの確保が常に求められます。それもあって、新たにPCを導入する際には、いまではなく5年先を見据えながら、可能な限りハイスペックな製品——もっと言えば、その時点ではオーバースペックと感じられるような製品をあえて選んできました。もちろん性能だけではなく、5年間、安心して使える頑丈さやサポートサービスも求めてきたと言えます」(野々山氏)。

このような考えを持つIT推進室が、社内PCとして長年使い続けてきたのが、デル製PCである。タツノとデルとの付き合いは1999年ごろから始まり、これまでの約20年間、他社製PCとデル製品を併用する時期はあったものの、デル製PCをメインのPCとして使うという考えに変化はなかったという。

「製品の性能、品揃えの豊富さ、そしてサポート品質など、あらゆる点でデルのPCが他よりも優れていると感じています。例えば、デルのサポート契約には、万が一のトラブル発生時にユーザーがして欲しいと考えるサービスがあらかじめ組み込まれています。ですので、トラブル発生時に保守サービスを改めて調達する手間がかかりません。それは、ITインフラの運用管理をする立場の人間にとって、とても大きなメリットと言えます」





株式会社タツノ
IT 推進室
課長
野々山 芳久氏



株式会社タツノ
IT 推進室
久野 和美氏

ハイスペック・軽量・壊れにくさで「Dell Latitude 7390」を選ぶ

こうしてデル製 PC の活用を進めるなか、前回の PC 更改時（2014 年～2015 年）に導入した PC がリプレースのタイミングを迎えた。その際、同社が掲げた方針は社内 PC 全台を単一機種種のノート PC に切り替えるというものだ。

野々山氏によれば、前回の PC 更改により、社内 PC ユーザーの 8 割がノート PC を活用し、残り 2 割がデスクトップ PC を使うという状況がつけられていたという。

「前回の PC 更改で目指した一つは、外勤の多い従業員の間で増えつつあったデスクトップ PC とノート PC の「2 台持ち」の無駄を一扫することでした。そのゴールに向けて、従業員に貸与する PC は一人一台までという大原則を定め、たうえで、大多数の従業員の PC をノート PC で一本化したわけです。その中で、ノート PC が特に必要ではなかった管理部門の担当者などの PC が、デスクトップ機のまま据え置かれた格好です」（野々山氏）。

ただし、その後の働き方改革の流れの中で、本社を含む各拠点における Wi-Fi 環境整備やフリーアドレス化が進み、デスクトップ PC の不便さが際立つようになった。

「そもそも管理部門の担当者も、会議のときには自席を離れます。そう考えれば、自分の PC は持ち運べるに越したことはなく、今回の PC 更改では全台をノート PC に切り替える決断を下しました」（野々山氏）。

この判断の下、同社は、デル製ノート PC の中から 13 インチ フル HD ディスプレイを採用した「Dell Latitude 7390」を選定した。理由は、処理性能と可搬性（軽量さ・コンパクトさ）、そして耐久性が優れていたためだ。

実際、Dell Latitude 7390 の重量（最軽量重量 1.17kg）は、これまで使用してきたデル製ノート PC よりもおおよそ 500g 軽量だ。画面サイズは従来機種よりも 1 インチ狭いものの、「フル HD なので実質的には狭さを感じません」（野々山氏）という。しかも、マグネシウム合金などのプレミアムな素材で作られているため耐久性も高い。

「当社では、ノート PC の使い方・扱い方が、従業員の担当業務によって実にさまざまです。そうした多様な使い方のすべてにフィットしたのが、軽

くて壊れにくく、かつハイスペックな Dell Latitude 7390 だったということです」と、野々山氏は語り、次のような説明を加える。

「例えば、全国の営業所で働く機器メンテナンスサービス担当者は、検収書を印刷する携帯型 A4 プリンタとノート PC を携行しながら、お客様先を自動車で駆け巡り、現場で忙しく業務をこなします。そのため、ノート PC を落とす、踏んでしまう、どこかに激しくぶつけてしまうことが間々あり、ノート PC には可搬性と耐久性が強く求められます。一方で、本社の営業担当者は、ノート PC を一日中携帯しながら電車移動でお客様巡りをします。ノート PC には高い可搬性が必要です。それに対し、内勤メインの担当者は、外付けのモニタとキーボードをノート PC に接続し、デスクトップ PC の代替機として使っています。ですので、可搬性よりも性能の高さを求めるわけです。Dell Latitude 7390 であれば、これらすべての要求に高いレベルでこたえつつ、向こう 5 年間、現場の業務をしっかりと支えてくれると期待できます」（野々山氏）。

DA300 で外付けモニタ 接続アダプタを一つに集約

タツノでは今回、Dell Latitude 7390 導入と併せて、外付け型のデル製ワイドモニタも約 600 台導入した。これは、Dell Latitude 7390 を使ったオフィス内業務の効率性を高めるための施策だ。また、それと併せて、デルのモバイル USB-C アダプタ「DA300」を導入し、Dell Latitude 7390 とのセットで従業員に貸与している。

タツノでは以前から、ノート PC やデスクトップ PC 用の外付けモニタを数多く導入してきたが、モニタの機種を限定していなかったがゆえに、モニタ接続用のポートとして、VGA、HDMI、DisplayPort (DP) などが混在する状況に陥っていた。結果として、Dell Latitude 7390 とモニタとの接続用に複数のアダプタを保持・管理する必要が生じたのである。この問題を一挙に解決したのが、DA300 だ。



「Dell USB-C モバイルアダプタ DA300」
ケーブルは巻き取りで格納できるので、よりコンパクトに



というも DA300 は一つで、HDMI、DP、VGA、USB-C / USB-A のポートを相互に接続することができるからだ。

「DA300 のソリューションはシンプルですが、導入効果は大きいと見えます。ノート PC とモニタの接続用に複数のアダプタを保持・管理する必要がなくなっただけでも本当に助かります。今後、USB-C 対応のモニタを導入していけば、モニタから給電が可能になりますので、Dell Latitude 7390 と DA300 のモバイルユーザーにとっての使い勝手はさらに増すはずですよ」(野々山氏)。

社内 IT インフラのすべてが デル製に

Dell Latitude 7390 導入と併せてタツノが購入したのは、DA300 やデル製モニタだけではなく、CAD 用に使用している 70 台の「Dell Precision ワークステーション」(デスクトップ機)も新機種へと切り替えている。タツノでは、PC の場合と同じく、長くデル製ワークステーションを使い続けており、今回はそのリプレースとなる。

さらに、デルの PC / ワークステーションへの信頼と高い評価から、同社では、危険場所に指定されているガソリン計量機の検定室用に高耐久型のノート PC 「Dell Latitude 7424 Rugged」を導入。加えて、同社の IT インフラを構成するサーバーやストレージもデル (Dell Technologies) 製品で統一しつつある。

その点に関して、IT 推進室でサーバー環境の運用管理を担当する久野 和美氏は次のように説明を加える。

「PC やワークステーションと同じように、サーバー製品のサポート品質は高く、こちらの課題に応じて、さまざまな提案を熱心にもらえるので信頼が置けます。すでに、懸案だったバックアップのソリューションについても、Dell Technologies の重複排除バックアップアプライアンス『Dell EMC Avamar』の導入を決めています」

さらに現在は、デルの支援を仰ぎながら、ディザスタリカバリの仕組みの構築も進めているという。最先端技術の積極的な取り込みによって 100 年以上、業界トップを走り続けてきたタツノ。その情報化のインフラをデルがこれからも支え続ける。

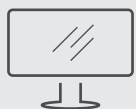
「当社がデル製品を使い続けてきた理由はシンプルで、製品の性能、品ぞろえ、そしてサポート品質のすべてにおいてデルが一番だったからです。過去 20 年近くの間、デル製 PC を他社製に切り替える理由は見つかっていません」

株式会社タツノ
IT 推進室
課長
野々山 芳久氏

「デル製 PC への信頼から、当社の IT インフラを成すサーバーやストレージもほぼすべてがデル製品に統一されつつあります。デル製品はどの領域の製品も優秀で、サポート品質が高い。ソリューションの引き出しの多さには助けられています」

株式会社タツノ
IT 推進室
久野 和美氏

ユーザ導入事例ウェブサイトにて、他にも多くの事例をご覧ください。 www.dell.co.jp/casestudy



Dell Latitude の
詳細はこちらから



専門スタッフへの
お問い合わせ



お客様導入事例の一覧は
こちらから



この記事共有する

